

2024年（令和6年）度 第38回日本音声学会全国大会

The Thirty-Eighth General Meeting of the Phonetic Society of Japan

主催：日本音声学会（The Phonetic Society of Japan）

会場：大東文化大学 東京板橋キャンパス

〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1

TEL. 03-5399-7329（外国語学部事務室）

<https://www.daito.ac.jp/access/itabashi.html>

大会運営委員長：米山 聖子（大東文化大学）

第1日目 9月28日（土）会場 3-0101 教室, 3-0103/4 教室, 3-0111 教室

12:30～ 受付（3-0111 教室前）

13:00～14:00 会長挨拶 日本音声学会長 上田 功（3-0111 教室）

開催校挨拶 大東文化大学長 高橋 進

総会

表彰式

14:00～14:20 休憩

14:20～17:40 研究発表, ワークショップ（3-0101 教室, 3-0103/4 教室, 3-0111 教室）

18:00～20:00 懇親会（学生食堂（生協））

第2日目 9月29日（日）会場 3-0101 教室, 3-0103/4 教室, 3-0111 教室

9:30～ 受付（3-0111 教室前）

10:00～11:30 特別講演（リモート開催）3-0111 教室

講師紹介：近藤真理子 座長：牧野武彦

Richard Wright (University of Washington)

“How lexical and pragmatic information affect pronunciation variation”

※ 特別講演は会員、非会員にかかわらず、どなたでも無料で聴講できます。この特別講演は学術振興会の「令和6年度科研費・研究成果公開促進費」の助成を受けています。

11:30～12:30 休憩

12:30～13:30 研究発表（ポスター 3-0108 教室・3-0109 教室）

13:30～13:45 休憩

13:45～15:25 研究発表（口頭 3-0101 教室, 3-0103/4 教室, 3-0111 教室）

ワークショッププログラム (9月28日 15:40~17:40)

C会場 (3-0111 教室)

Phonetic typology of liquids: a cross-linguistic perspective

Seunghun J. Lee (企画者: International Christian University), 倉部 慶太 (司会者: 東京外国語大学、アジア・アフリカ言語文化研究所), Naoki UETA (Tokyo University of Foreign Studies, Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa), 山本 恭裕 (東京外国語大学), Priyankoo SARMAH (IIT Guwahati), Seunghun J. Lee (International Christian University & IIT Guwahati), Viyazonuo Terhija (IIT Guwahati), Wendy Lalhminghlui (IIT Guwahati), Maho Morimoto (Chuo University), 品川 大輔 (東京外国語大学、アジア・アフリカ言語文化研究所)

研究発表プログラム (9月28日 14:20~17:20, 29日 12:30~15:25)

※ 優秀発表賞審査対象者は氏名に下線を付しました。今年度の優秀発表賞は後日学会ウェブサイト上で発表し、受賞者にはメールでお知らせします。表彰式については後日学会ウェブサイト上でお知らせします。

口頭発表 (28日) 14:20~15:25, 15:40~17:20

A会場 (3-0101 教室)

座長: 生駒美喜, 松浦年男

A1 (14:20~14:50) 「食べない？」の発話意図と韻律的特徴

孫 爽 (関西学院大学)

A2 (14:55~15:25) 自然発話にみられる「おそ下がり」と発話印象との関係 – 『日本語話し言葉コーパス』を用いた研究 –

葉 雪瑠 (筑波大学大学院)

座長: 井下田貴子, 木村琢也

A3 (15:40~16:10) 日本語母語話者による韓国語母音の習得に関する一考察 – 発音学習における自己モニタリングの効果 –

朴 瑞庚 (愛知大学)

A4 (16:15~16:45) Investigating L2 Japanese Word-initial Stop Production by L1 Korean Learners

キム・ミン (筑波大学), 矢澤 翔 (筑波大学)

B 会場 (3-0103/4 教室)

座長：内田洋子，波多野博顕

- B1 (14:20~14:50) 激情と命令を意味する Exclamation Point にかかわる韻律特徴 —ポーズ長・音調・ピッチ差—
市崎 一章 (松山大学)
- B2 (14:55~15:25) 様々な英語リズム指標の共通性に関する考察
小西 隆之 (神戸大学)

座長：杉本淳子，峯松信明

- B3 (15:40~16:10) 日本人小学生の英単語復唱における母音挿入・母音置換の評価
西岡 学人 (同志社大学大学院)，加藤 恒夫 (同志社大学)，菅原 真理子 (同志社大学)
- B4 (16:15~16:45) 日本人中学生による英語単母音産出の定量的分析：初等教育の言語環境の影響と経年変化
加藤 恒夫 (同志社大学)，菅原 真理子 (同志社大学)
- B5 (16:50~17:20) 日本人中学生の英語発話における韻律特性：初等教育の言語環境の影響と経年変化
菅原 真理子 (同志社大学)，加藤 恒夫 (同志社大学)

ポスター発表 29日 12:30~13:30

ポスター会場 (3-0108 教室・3-0109 教室)

座長：船津誠也，安田麗

- P1 ベトナム語を母語とする日本語学習者の摩擦音の音響的特徴
Nghiem Ngoc Tram (法政大学大学院)
- P2 中国人日本語学習者のアクセントの弱化の生成と判定基準 —限定関係にある2要素からなる句の場合—
趙 氷清 (早稲田大学大学院, 遼寧轻工職業学院)
- P3 日本語語頭閉鎖音の知覚における後続母音の fo 効果と個人内安定性
邊 姫京 (国際教養大学)
- P4 在日ブラジル人の日本語とポルトガル語における語頭閉鎖音の音声的特徴
Marina Wense Dias Vieira da Silva (名古屋大学大学院)，王 知言 (名古屋大学大学院)，宇都木 昭 (名古屋大学)
- P5 日本語を母語とする英語学習者による強勢の音声的実現：母音フォルマントの特徴
田嶋 圭一 (法政大学)，北原 真冬 (上智大学)，米山 聖子 (大東文化大学)
- P6 Realizations of /u:l/ by Japanese Learners of English
森田 大輝 (東京外国語大学大学院)

- P7 イタリア語二重流音の日本語表記について —日本語訳『クオレ』および『ピノッキオの冒険』の通時的分析—
桑本 裕二 (鳥取県東伯郡琴浦町), 守本 真帆 (中央大学)
- P8 ドイツ語発話におけるパラ言語情報: 心態詞 *schon* のアクセントの有無と音声特徴
生駒 美喜 (早稲田大学) Sarah Magdalena Zobel (フンボルト大学), 小西 隆之 (神戸大学)
- P9 日本語母語話者による英語 NURSE 母音の聞き取り
杉本 淳子 (聖心女子大学), 内田 洋子 (青山学院大学)
- P10 日本語の無声無気音における電気声門図 (EGG) の一考察
瞿 琦 (神戸大学)

口頭発表 (29日) 13:45~15:25

A会場 (3-0101 教室)

座長: 竹内京子, 松田真希子

- A6 (13:45~14:15) 英語話者による日本語の有核語・無核語の発話に関するコーパス調査
矢澤 翔 (筑波大学), 波多野 博顕 (筑波大学)
- A7 (14:20~14:50) 日本語 wh 構文におけるアクセントの実現についての追実験
遠藤 歩華 (国際基督教大学), 古澤 里菜 (国際基督教大学), 鎌野 慈人 (ストーニーブルック大学), 川原 繁人 (慶應義塾大学), シャー・ジェイソン (イエール大学)
- A8 (14:55~15:25) 個人の異聴傾向を考慮した「聞き間違いやすい語」の予測 —単語分散表現と確率、編集距離の応用—
岸山 健 (東京大学大学院), 野口 大斗 (東京医科歯科大学), 黄 竹佑 (名古屋学院大学)

B会場 (3-0103/4 教室)

座長: 竹内はるか, 林良子

- B6 (13:45~14:15) 京都方言と高知市方言で測る類別名詞の有効性
高山 林太郎 (宇都宮大学)
- B7 (14:20~14:50) 破裂音の周波数特性に見る有声性との関係: 東北・近畿複数世代の観察
高田 三枝子 (大正大学)
- B8 (14:55~15:25) 乳児による連続音声からの単語の切り出しに関する予備的調査
阿 栄娜 (理化学研究所, 早稲田大学), 高橋 美樹 (理化学研究所), 山根 直人 (理化学研究所, 早稲田大学), 馬塚 れい子 (理化学研究所, 早稲田大学)

C 会場 (3-0111 教室)

座長：李勝勳，籠宮隆之

C6 (13:45～14:15) A kinesthetic approach for teaching language prominence patterns

Donna Erickson (Haskins), Albert Rilliard (CNRS), Malin Svensson Lundmark (Lund University), Leticia Rebollo Couto (Fed Univ Rio de Janeiro), Oliver Niebuhr (University of Southern Denmark), Joao De Moraes (Fed Univ Rio de Janeiro)

C7 (14:20～14:50) モンゴル語の語中有気音の音声的特徴 —前気音以外の音声実現の可能性—

植田 尚樹 (東京外国語大学)

C8 (14:55～15:25) 体系的・非体系的な発音指導を行う日本語教師の比較 —中国の大学教師の回答から体系的な音声教育について考える—

劉 羅麟 (東京大学)

◇ 参加費

参加費はイベントペイシステム Peatix を通じてお支払いください。現金でのお支払いはできません。下記 URL から Peatix にアクセスしてください。

<https://psj2024.peatix.com>

学生 (学部、大学院) が 1,000 円、一般会員が 3,000 円、非会員 (学生以外) が 6,000 円です。学生の方は、申し込みと同日に下記アドレスまで学生証の画像をメール添付でお送りください。(画像は確認後、責任を持って消去します。)

psj2023k@gmail.com

※9月29日の特別講演 (オンライン) は、どなたでも無料でご参加いただけます。視聴を希望する方は、Peatix よりチケットを申し込んでください。

◇ 予稿集

予稿集は電子版の発行となります。会員マイページにて事前に公開しますので、ダウンロードやプリントアウト等をして各自でご準備ください。

◇ 新規学会入会受付

音声学会では入会を随時受け付けております。ご希望の方は、以下をごらんください。

<http://www.psj.gr.jp/jpn/membership>

◇ 懇親会

一日目 9月28日 (土) 18:00 から、学生食堂 (生協) にて懇親会を開催します。参加費は 6,000 円 (学生会員は 3,000 円) です。参加される方は上記「参加費」に書かれている Peatix から、大会参加費と同時に お支払いください。

◇ 昼食

大会両日とも昼食用のお弁当等の受付はございません。また、学内の学生食堂（生協）は9月28日（土）のみご利用いただけます。9月29日（日）の昼食についてはご自分でご用意の上、ご来場ください。会場付近で食品等が買えるのは大学前と大学裏のローソンになります。また、東武練馬駅をご利用の方は、イオンスタイルが早朝よりご利用いただけます。

◇ 保育室のご案内

開催校のご協力を得て、大会の期間中保育室を開きます。小さいお子様がおいでの会員の方は、ぜひご活用ください。利用には事前予約が必要です。詳細については確定次第ウェブサイトでお知らせします。

◇ 手話通訳等の支援のご案内

手話通訳や要約筆記の支援を希望なさる方に、学会が費用の一部を補助いたします。補助の内容は個別にご連絡いたしますので、ご希望の方は2024年8月30日（金）までに学会事務局（psjpost@bunken.co.jp）にご連絡下さい

◇ 展示

書籍・機器の展示を一日目9月28日（土）、二日目9月29日（日）の両日に行う予定です。

◇ 企画委員

木村琢也（委員長）、竹内はるか（副委員長）、李 勝勲、井下田貴子、生駒美喜、内田洋子、籠宮隆之、川原繁人、杉本淳子、高澤美由紀、高橋康徳、竹内京子、波多野博顕、林良子、船津誠也、松浦年男、松田真希子、峯松信明、安田 麗、山本誠子

◇ 庶務委員

白勢彩子（委員長）、皆川泰代（副委員長）、植田尚樹、木川行央、坂本洋子、平子達也、平田秀、三井はるみ、吉田夏也

◇ 会場への交通

<https://www.daito.ac.jp/access/itabashi.html>

東武練馬駅「入口専用臨時改札口」が「東改札口」となり終日利用可能になりました。9月28日(土)に学バスをご利用の方はこちらの改札をご利用いただき、大東文化会館より学バスをご利用ください。9月29日(日)は学バスの運行はありません。都営三田線(西台駅西口より徒歩10分)、または東武練馬駅、成増駅、赤羽駅よりバスをご利用ください。東武練馬駅から徒歩の場合、大学まで25分程度です。

<電車の場合>

- 東武練馬(大東文化大学前)駅北口下車
浮間舟渡駅行、高島六の橋バス停下車
- 成増駅北口下車
赤羽駅西口行、大東文化大学バス停下車
- 赤羽駅西口下車
成増駅北口行、約20分、大東文化大学バス停下車

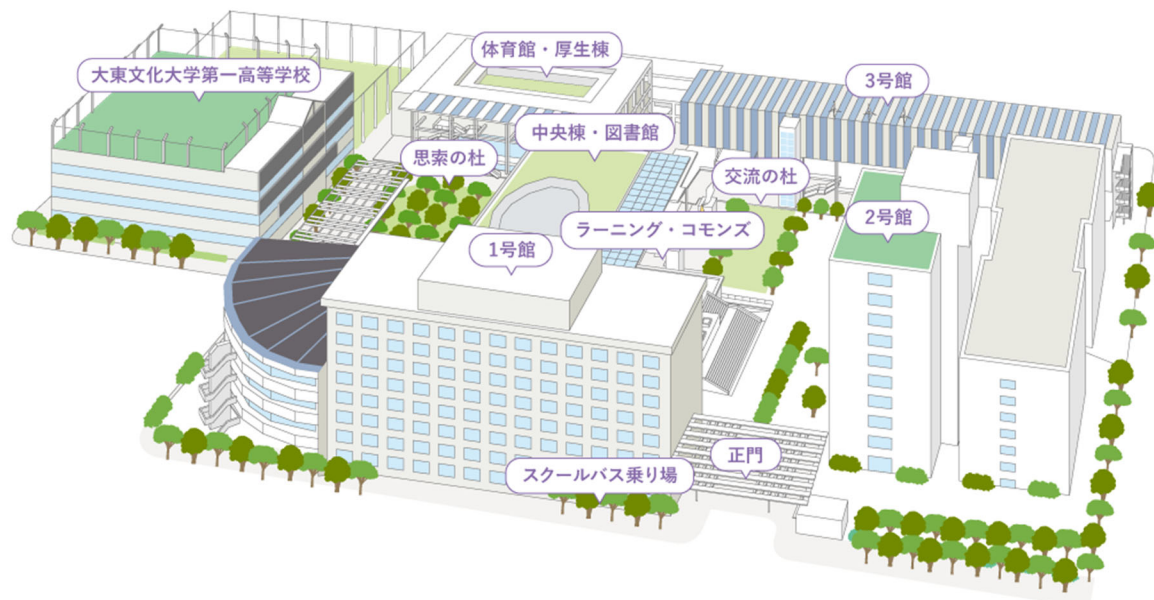
板橋

キャンパス周辺MAP

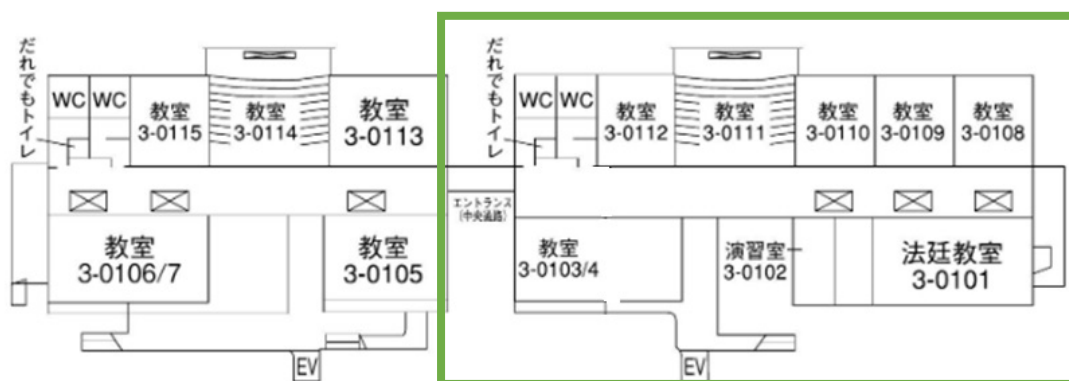


◇ キャンパスマップ

正門より直進していただくと3号館があります。会場は3号館1Fの右側半分です。



3号館1階右側（緑の囲いの中）の教室が会場となります。9月29日（日）は9:00~17:00の予定で博物館講座の集中講義が3-0106/7教室で行われます。ご承知おきください。



※次回 2025 年度（第 39 回）全国大会は神戸大学で開催予定です。